

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	B		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	<input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有	<input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無
} 接種済みの仔豚を農家から導入			
2 寄生虫性肝炎			
駆虫剤使用	有	<input checked="" type="radio"/> 無	
薬剤名	-----		
用法用量	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	有	<input checked="" type="radio"/> 無	
薬剤名	-----		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	C		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	有	無
ワクチン名	スィムジエン ART2		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	有	無
2 寄生虫性肝炎			
駆虫剤使用	有	無	母豚
薬剤名	アイシックス7 フレックス 0.6%		
用法用量	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	有	無	
薬剤名	カルバドックス 仔豚が下痢したとき		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

MPS調査結果 C 農家 OHTOMO農場

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
調査頭数	72	81	113	112	80	156	614
り患程度(点) 0	9	27	28	47	40	64	215
り患程度(点) 1	12	12	19	27	7	20	97
り患程度(点) 2	23	28	46	22	15	37	171
り患程度(点) 3	28	14	20	16	18	35	131
<指数>	1972	1358	1513	1063	1138	1276	1355
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
	12.5%	33.3%	24.8%	42.0%	50.0%	41.0%	35.0%
	16.7%	14.8%	16.8%	24.1%	8.8%	12.8%	15.8%
	31.9%	34.6%	40.7%	19.6%	18.8%	23.7%	27.9%
	38.9%	17.3%	14.3%	14.3%	22.5%	22.4%	21.3%

寄生虫性肝炎調査結果

調査頭数	73	61	114	118	77	159	602
陽性頭数	1	3	2	1	0	6	13
	1.4%	4.9%	1.8%	0.8%	0.0%	3.8%	2.2%

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	D		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン	99年/12月までして いたが、効果が みられなかった。		
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>
ワクチン名	日生研豚 AP7742 125RX		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/> 母豚
ワクチン名	スライズ ART2		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>
2 寄生虫性肝炎	駆虫剤使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/> 母豚
薬剤名	メボール 50		
用法用量	別紙参照	3~4ヶ月に1回 30日投与	
3 その他 (経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等)			
使用	有 <input checked="" type="radio"/>	無 <input type="radio"/>	
薬剤名	OTC (仔豚に)		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	E		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	有	無
2 寄生虫性肝炎			
駆虫剤使用	有	無	母豚
薬剤名	アイソメック フロベミックス		
用法用量	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	有	無	
薬剤名	アイブロンジン フロベミックス		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

MPS調査結果 E 農家 WATANABE農場

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
調査頭数	98	72	130	106	129	139	674
罹患程度(点) 0	32	33	72	66	91	77	371
罹患程度(点) 1	27	15	30	16	13	18	119
罹患程度(点) 2	31	20	20	19	17	33	140
罹患程度(点) 3	8	4	8	5	8	11	44
<指数>	1.153	0.931	0.723	0.651	0.550	0.842	0.788

寄生虫性肝炎調査結果

調査頭数	98	72	99	137	184	114	704
陽性頭数	0	0	2	3	6	5	16
	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	3.3%	4.4%	2.3%

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	F		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	<input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無
ワクチン名	豚 Hpn 3価 ワクチン 「北研」		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無 母豚
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無
2 寄生虫性肝炎			
薬剤名	駆虫剤使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無 母豚
用法用量	アイボックス 70レミックス		
	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	<input checked="" type="radio"/> 有	無	
薬剤名	マイソリチン PS カワバトックス 10		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	G		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有	無
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	有	無
ワクチン名	豚パスツレラトキソイド "化白研"		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	有	無
2 寄生虫性肝炎			
駆虫剤使用	有	無	
薬剤名	-----		
用法用量	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	有	無	
薬剤名	アンチロット散 8%		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

MPS調査結果  農家 T農場

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
調査頭数	242	213	272	125	248	298	1,398
以患程度(点) 0	112	88	151	83	203	245	882
以患程度(点) 1	52	44	53	21	25	22	217
以患程度(点) 2	52	58	48	18	17	20	213
以患程度(点) 3	26	23	20	3	3	11	86
<指数>	0.967	1.075	0.768	0.528	0.274	0.319	0.644

寄生虫性肝炎調査結果

調査頭数	242	225	246	205	258	324	1,500
陽性頭数	6	3	5	3	7	6	30
	2.5%	1.3%	2.0%	1.5%	2.7%	1.9%	2.0%

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所
生産者No.	H
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり
飼養管理状況	
1 使用ワクチン	
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用 有 <input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	-----
用法用量	別紙参照
②Appワクチン	使用 有 <input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	-----
用法用量	別紙参照
③ARワクチン	使用 <input checked="" type="radio"/> 無
ワクチン名	スィムジエART2、AR-C7742「北研」
用法用量	別紙参照
④豚丹毒ワクチン	使用 <input checked="" type="radio"/> 無
2 寄生虫性肝炎	
駆虫剤使用	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
薬剤名	リムベコ-1VL
用法用量	別紙参照
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）	
使用	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
薬剤名	タイロシン、チアゾニコ-1VL OTC、 カルバドックス
用法用量	別紙参照
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり

検査データ整理票

検査所名	山形県内陸食肉衛生検査所		
生産者No.	J		
データ収集期間	平成12年6月1日～平成12年11月30日		
データ収集頭数	別紙の調査結果のとおり		
飼養管理状況			
1 使用ワクチン			
①豚マイコプラズマ肺炎ワクチン	使用	有	無 <input checked="" type="radio"/>
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
②Appワクチン	使用	有	無 <input checked="" type="radio"/>
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
③ARワクチン	使用	有	無 <input checked="" type="radio"/>
ワクチン名	-----		
用法用量	別紙参照		
④豚丹毒ワクチン	使用	有	無 <input checked="" type="radio"/>
2 寄生虫性肝炎			
	駆虫剤使用	有	無 <input checked="" type="radio"/>
薬剤名	イトー100-10		
用法用量	別紙参照		
3 その他（経口および飼料に添加して用いる抗生物質製剤等）			
使用	有	無	<input checked="" type="radio"/>
薬剤名	-----		
用法用量	別紙参照		
調査結果	別紙のMPS調査結果および寄生虫性肝炎調査結果のとおり		

MPS調査結果 I 農家 ENDOH農場

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
調査頭数	76	87	86	63	103	134	549
り患程度(点) 0	26	19	29	36	72	67	249
り患程度(点) 1	20	23	20	14	12	30	119
り患程度(点) 2	20	23	26	7	13	30	119
り患程度(点) 3	10	22	11	6	6	7	62
<指数>	1.184	1.552	1.221	0.730	0.544	0.828	0.989

寄生虫性肝炎調査結果

調査頭数	38	94	87	74	135	116	544
陽性頭数	5	8	1	0	10	2	26
	13.2%	8.5%	1.1%	0.0%	7.4%	1.7%	4.8%

詳細情報1		
品名	レスピシュアNZ	
一般名称	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン	
業者等名称	ファイザー製薬株式会社	
製造元	ファイザー社	
承認日	平成07年08月25日	
承認区分	輸入医薬品	
有効成分	1	マイコプラズマ・ハイオニューモニエ
		備考欄参照
	2	
	3	
	4	
	5	
6		
対象動物	豚	
剤型	注射剤	
規制区分	指定医薬品, 劇薬, 要指示医薬品	
効能効果	豚のマイコプラズマ性肺炎による増体量抑制及び飼料効率低下の軽減	
用法用量	生後1週齢から8週齢の子豚に2mL、さらに2週間後に2mLを臀部筋肉内に注射する。	
休薬期間		
有効期間	24カ月	
貯蔵方法	2~5°の冷暗所保存	
包装単位	100mL(50回分)	
備考	<p>レスピシュアの一物多名称</p> <p>【成分及び分量】 マイコプラズマ・ハイオニューモニエ感染症(油性アジュバント加)不活化ワクチン NL1042株 (不活化前生菌数 5×10⁽⁸⁾~5×10⁽⁹⁾CCU)</p>	

Home

7742

詳細情報1

品名	AR-Cワクチン「北研」
一般名称	豚ボルデテラ感染症不活化ワクチン
業者等名称	社団法人 北里研究所
製造元	
承認日	平成01年09月14日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 1バイアル(10mL)中
	2 ボルデテラ・ブロンキセプトチカ北研L3-72株(豚由来)1相菌死菌 約 1.2×10^{12} (12)個
	3 不活化剤 ホルマリン 2.5 μ L以下
	4 保存剤 チメロサル 1mg
	5 希釈用液 リン酸緩衝食塩液 残量
	6 アジュバント 水酸化アルミニウムゲル(アルミニウム量として) 約5mg
対象動物	豚
剤型	(動生剤)液状 不活化
規制区分	劇薬, 要指示医薬品, 指定医薬品
効能効果	豚のボルデテラ・ブロンキセプトチカの感染及び発病予防。
用法用量	1. 成豚に用いる場合 1回5mLずつを1~2カ月の間隔で2回筋肉内に注射する。ただし、2回目は分娩予定日の約1カ月前に注射する。次回以降の繁殖時に行う補強注射は5mLをその分娩予定日の約1カ月前に1回筋肉内注射する。 2. 子豚に用いる場合 イ. 非免疫母豚の産子 生後4週齢までに1mL、さらに1~2週間後1mLを筋肉内に注射する。 ロ. 免疫母豚の産子 生後5週齢までに1mL、さらに1~2週間後1mLを筋肉内に注射する。
休薬期間	
有効期間	2年
貯蔵方法	遮光して2~5°Cに保存
包装単位	1バイアル 10mL、50mL、10mL×10本
備考	

Home

7742

詳細情報1

品名	スィムジェン ART2
一般名称	ボルデテラ・ブロンキセプチカ・パスツレラ・ムルトシダ混合トキソイド
業者等名称	財団法人 化学及血清療法研究所
製造元	
承認日	平成10年02月27日
承認区分	製造医薬品
有効成分	1 ワクチン 1バイアル (20ml)中
	2 パスツレラ・ムルトシダ皮膚壊死トキソイド 1.7 × 10(4)~8.5 × 10(
	3 ボルデテラ・ブロンキセプチカ皮膚壊死トキソイド 8.7 × 10(5)~4.4 × 10(
	4 日局 ホルマリン 0.08ml以下
	5 水酸化アルミニウムゲル(アルミニウム量換算) 48mg以下
	6 リン酸緩衝食塩液 残量
対象動物	豚
剤型	(動生剤)液状 不活化
規制区分	指定医薬品, 劇薬, 要指示医薬品
効能効果	豚の萎縮性鼻炎の予防
用法用量	妊娠豚に対し2mlを分娩前5~6週及び2週前後の2回筋肉内に注射します。次回の分娩からは2mlを分娩前2週前後の1回筋肉内に注射します。 子豚(1ヵ月齢以上)には1mlを2回、3~4週間隔で筋肉内に注射します。
休業期間	
有効期間	3年
貯蔵方法	遮光して2~5℃に保存
包装単位	20ml バイアル
備考	【成分及び分量】 ワクチン 1バイアル (20ml)中 パスツレラ・ムルトシダ皮膚壊死トキソイド(無毒化前皮膚壊死毒素量) 1.7 × 10(4)~8.5 × 10(4)モルモット単位 ボルデテラ・ブロンキセプチカ皮膚壊死トキソイド(無毒化前皮膚壊死毒素量) 8.7 × 10(5)~4.4 × 10(6)最小皮膚壊死毒素量(MND) 日局 ホルマリン 0.08ml以下/20ml 水酸化アルミニウムゲル(アルミニウム量換算) 48mg以下/20ml リン酸緩衝食塩液 残量

Home

7742